



発行・編集

No.168

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院

ほうじゅ連携室

石川県能美市緑が丘11-71

☎(0761) 51-5551(代表)



ほうじゅ

検 索

2020年10.11月号の特集ページ「急増する心不全 -2035年に向けた取り組み-」

🍁 Top NEWS!

屋外ドライブスルー型

発熱外来を開設しました

11月24日より救急センター・時間外出入口の横に、屋外ドライブスルー型の「発熱外来」を開設いたしました。

発熱やかぜ症状などがある方は、事前にご連絡いただくことで、院内に入ることなく診察や検査、処方箋の受け取りなどが行えます。これにより感染症が疑われる方と一般の外来を利用される患者さんの接触機会を低減できると考えており、皆さまに安心してご来院いただきたいと思います。



病院長
小坂 健夫

対象となる方

- 発熱や呼吸器感染症状などのある方
- 他の医療機関などから紹介された方
- 来院時の検温で発熱などが認められた方 など

★診察や検査などの事前予約がある方でも、症状がある場合、発熱外来を受診していただけます。

診 察 時 間

月～金曜日（祝日を除く）14:00～16:00



受診を希望される場合は、電話での事前連絡が必要です。

☎0761-51-5551

外 来 の 場 所



急増する心不全



… 2035年に向けた取り組み …

超高齢社会において、近い将来大きな問題となることが予測される心不全。この問題に対する世の中の流れと取り組みについて知り、一人ひとりが自分の健康について考えるきっかけにしましょう。

心不全パンデミックがやってくる!?

現在、世界的に心不全患者の急増が問題となっており、感染症の大流行になぞらえて「心不全パンデミック」とも言われています。日本では、2020年現在で約120万人が罹患していると推計されており、今後も高齢者の増加とともに年間1万人のペースで増加し、ピークとなる2035年頃には130万人を超えると言われてしています。



Okuyama Y, et al. Circ J. 2008; 72: 489-91. 及び内閣府高齢社会白書 (2020年版) をもとに作成

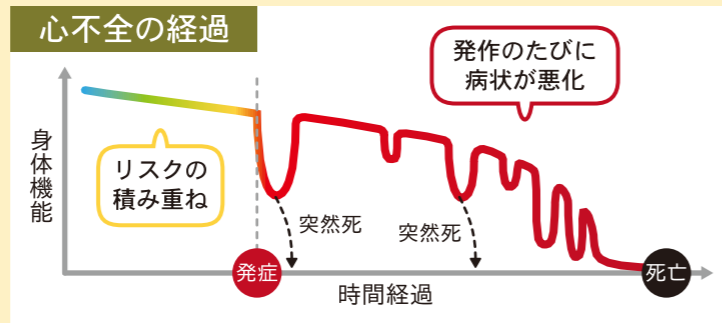
このまま患者数が増え続けると...

- 病床がひっ迫し、治療を受けられない可能性がある
- 医療・介護費が大幅に増加、社会保障制度に影響する

そもそも心不全ってどんな病気?

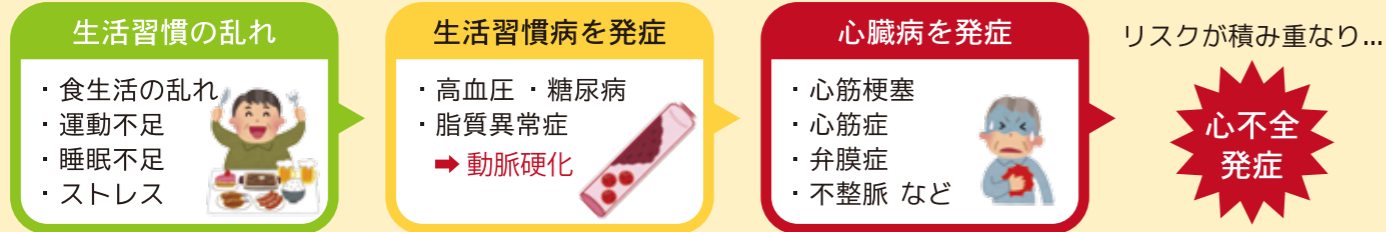
『心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気』

心不全は、何らかの原因によって心臓のポンプ機能が低下し、全身に必要な量の血液を送り出せなくなる状態です。そのため、動悸や息切れ、手足のむくみなどの症状が現れます。一度発症すると、発作を繰り返しながら症状が悪化していくため、発症しないためには、日常の予防が大切です。



日本循環器学会・日本心不全学会による定義

◆心不全発症への負の連鎖



◆生活習慣を見直してリスク低減

心不全にならないためには、負の連鎖の元となる生活習慣を見直すことが大切です。日常生活での注意点(右記)を意識した生活を心がけ、これらを継続することで、心不全のリスクを大きく減らすことができます。

日常生活での注意点

- 減塩 ● 禁煙 ● 節酒
- 適度な運動
- 十分な睡眠
- ストレス軽減 など

心不全は発症すると後戻りできません。手遅れになる前に予防しましょう!



ギリシャ語の「全ての人々」を語源とするパンデミックという言葉が用いられていますが、心不全は感染症とは異なりゆっくりと症状が生じるため、気づかないうちに蔓延してしまいます。

心臓カテーテル治療や心臓手術を受けた方以外が自覚することは少なく、息切れや足のむくみといった症状があれば、専門医に相談してください。もし、治療が必要になった場合は、地域の多施設と連携しながら“全集中”で診療にあたります。

副院長 / 内科 科長 **井野 秀一**
 ● 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
 ● 日本循環器学会認定循環器専門医

国の対応

政府は、診療体制の整備や予防推進などを目的として、脳卒中・循環器病対策基本法(*1)を制定しました。これから循環器病対策推進基本計画(*2)に沿って、都道府県ごとに具体的な診療体制などが整備されていく予定です。

◆「脳卒中・循環器病対策基本法」の制定

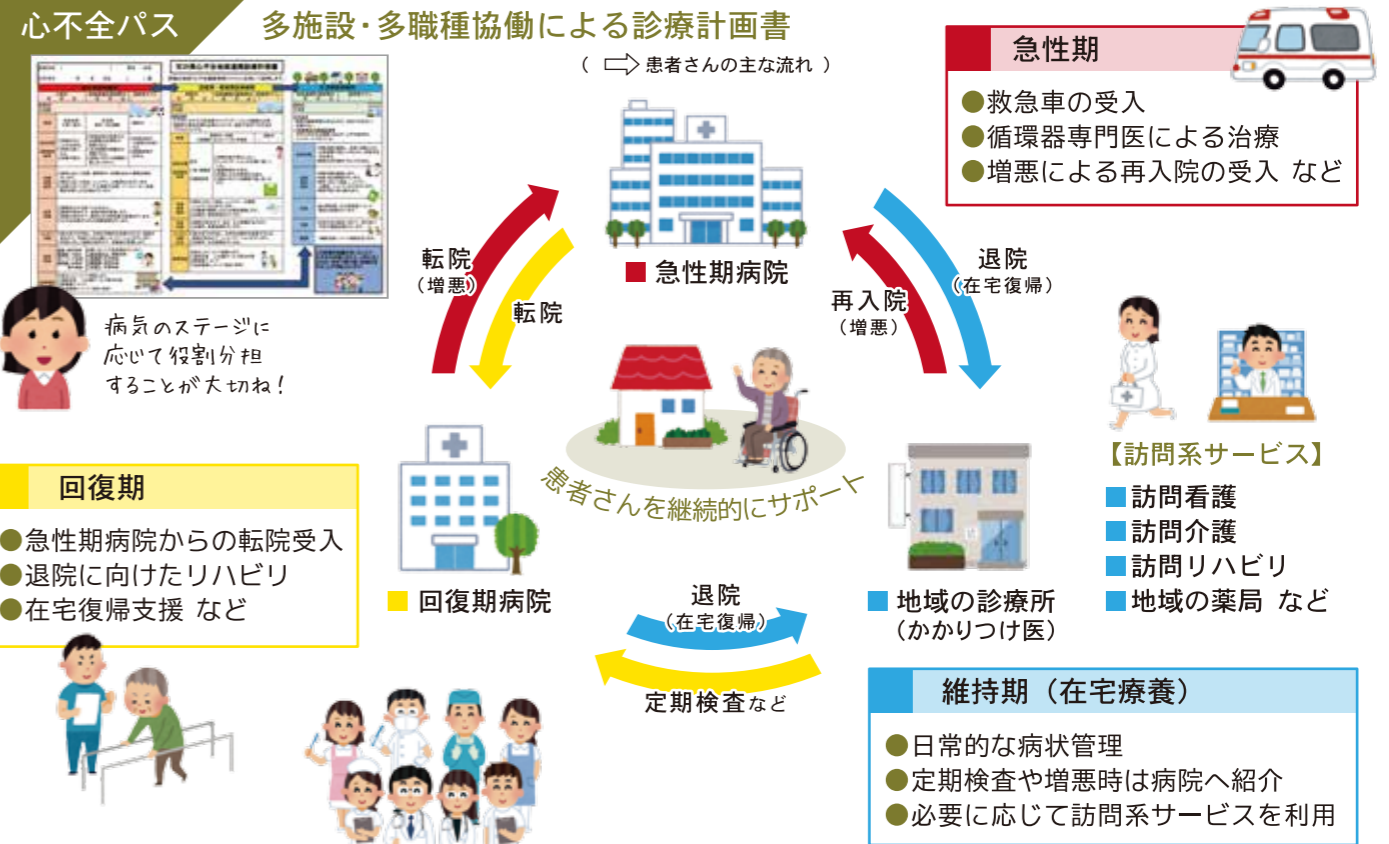
- *1・・・2019年12月1日 施行
- *2・・・2020年10月27日 閣議決定

ようやく国が動き出したけど、具体策はまだこれからね。

石川県における取り組み

◆「石川県心不全地域連携パス」の整備

当院も参画している「石川県心不全地域連携パス(心不全パス)」が、今年度より運用を開始しました。心不全パスは、診療にあたる複数の医療機関が心不全に関する患者情報や診療目標、治療経過などを共有し、多職種が連携することで、患者さんを地域全体で支えていくための仕組みです。これにより心不全発症から在宅療養まで、切れ目ない医療を提供します。



多施設・多職種協働

医師、看護師、薬剤師、リハビリ療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどの多職種が、院内はもちろん地域内の多施設とも協働します。

心不全パスにおける当院の役割

当院は急性期・回復期の病院として、専門性の高い治療から在宅復帰までを担います。また、心不全のような増悪を繰り返す病気は、退院後のフォローも大切なため、維持期を担う施設とも連携し、在宅療養を支える体制を整えています。

9/30

X線TV装置を更新しました

低被ばくで精度の高い検査を行なうため、X線TV装置を最新のものに更新しました。この装置は透視した映像が見られるため、バリウムなどの造影剤を使った胃透視検査や肩などの脱臼した骨をもとの位置に戻す整復術、飲み込みの状態を観察する嚥下機能検査などに使用されます。



10/15-16

キッズベース「運動会ごっこ」&「さつまいも掘り」

G-Hills 内の保育園 キッズベースで運動会ごっこが行われました。園児らは、障害物競走や玉転がしなどで元気いっぱい汗を流していました。翌日のさつまいも掘りでは、子どもたちが顔より大きなさつまいもに歓声を上げていました。皆で収穫したさつまいもは、お菓子などにしてG-Hills 内の各施設で振るまわれました。



10/28

介護医療院 陽だまり「あきまつり」

例年は利用者のご家族や地域住民も参加していたあきまつり。今年は新型コロナウイルスの影響により利用者と職員のみで開催しました。会場には、職員が手作りした陽だまり神社やゲームコーナー、たこ焼きの屋台などがあり、利用者の皆さんはお祭りの雰囲気を楽しんでいました。



新型コロナウイルス感染症に関する当院の対応については、ホームページをご覧ください。



「芳珠エクスプレス」

ほうじゅグループ

医療法人社団 和楽仁

- 芳珠記念病院
- 介護医療院 陽だまり
- 居宅介護支援事業所
- ほうじゅ訪問看護・リハステーション緑が丘
- グループホーム陽らら

社会福祉法人 陽翠水

- 介護老人保健施設 陽翠の里
- 共生型福祉施設 ジーヒルズ
- 訪問介護 ビジットケアひすい
- 通所介護 デイサービス等
- 地域包括支援センター 能美市辰口あんしん相談センター
- 企業主導型保育・病児保育 キッズベースみどりがおか
- 学童保育 ひすい放課後児童クラブ ヒルズクラブ
- 児童発達支援・放課後等デイサービス ネクストステップ
- 給食・配食サービス ひるすきっちゃん緑が丘
- カフェ ちゃうすカフェ
- 小規模多機能型居宅介護 コミュニケア緑が丘

信和商事株式会社

- 福祉用具貸与 ライフケア芳珠

ほうじゅグループのモットー「^{わらに}和楽仁」

仲よく楽しく
人と社会を健康に

芳珠記念病院の基本方針

1. 地域医療を担う病院として、当院に関わる皆様の生涯の健康を支えます。
2. 心のふれあいを大切にし、安心できるパートナーシップを築きます。
3. 利用される皆様の権利を尊重し、充分な説明と同意のもとに、参画できる医療を提供します。
4. 救命救急から慢性疾患まで、最新の科学的根拠に基づく、安全で的確なチーム医療を、多職種協働で提供します。
5. 地域との交流を大切に、社会保障の向上と経済の振興に取り組みます。

編集後記

寒い日が増えるとともに食べ物美味しい季節がやってきました。食欲は全開、だけど寒いから外には出たくない、そして体重が増加...「心不全発症への負の連鎖」の始まりかもしれません。いつまでも健康で美味しいものが食べられるように、暴飲暴食や運動不足には気をつけたいですね。寒い時期は心臓への負担が大きくなるため、くれぐれも無理はなさいませようお気をつけください。今年も一年、ありがとうございました。



芳珠記念病院
ヤツ芳 No.168
発行：2020.11.27

